

BOARD PERSPECTIVES

ISSUE 179

アメリカの規制環境の変化が意味すること

規制の変化や不確実性への対応は、世界中の取締役や経営陣が挙げるリスクの上位に常にランクインしています¹。最近の連邦最高裁判所の判決によって、アメリカで事業を展開する企業にとってこのリスクが高まっていると考える人もいれば、逆に裁判所の行動を評価する人もいます。この状況は、取締役会や企業にとって何を意味するのでしょうか。

本資料は、Board Perspectives Issue 179: Implications of the Changing U.S. Regulatory Landscape の全文翻訳ではなく、要点をまとめた簡易版です。

アメリカの規則制定プロセスは、透明性や市民参加、説明責任を確保するために設計されています。1946年に制定された行政手続法 (APA) 以来、規則制定プロセスは次のように機能してきました。

- 連邦議会は大まかな原則を定め、連邦政府機関に施行規則を作成する権限を委譲します。
- 担当の機関が規則の案を作成し、意見を募集するために公表します。
- そして、寄せられた意見を検討し、必要に応じて案を修正し、最終的な規則を公表します。
- 最終規則が出された後、関係者はその規則が法律の範囲を超えている、または不当だと感じた場合、裁判所に異議を申し立てることができます。

シェブロン原則の廃止

1984年の最高裁判例「シェブロン U.S.A., Inc. 対自然資源防衛協議会」では、環境保護庁の法律解釈に異議を唱える訴訟が行われました²。

裁判所は、法律が曖昧な場合でも、当局の解釈が合理的であればそれに従うとの結論を出しました。『シェブロン擁護の原則 (シェブロン)』として知られる最高裁のこの判決は、長年にわたって適切な説明がないまま当局に大きな権限を与えているといった批判がありましたが、40年間続いていました。しかし、2023年から2024年にかけての最高裁判所会期の最終週に行われた『ローパー・ブライト・エンタープライゼス対ライモンド』の裁判で、裁判所がシェブロンを覆す判決 (シェブロンの逆転) を下し、状況が大きく変わりました³。

1 2024年と2034年のトップリスクに関するエグゼクティブの視点、プロティビティとノースカロライナ州立大学のERMイニシアチブ、2023年12月：<https://www.protiviti.com/jp-jp/survey/executive-perspectives-top-risks-2024-and-2034>

2 Chevron U.S.A., Inc. v. NRDC, 467 U.S. 837 (1984), Justia U.S. Supreme Court Center, June 25, 1984：<https://supreme.justia.com/cases/federal/us/467/837/>

3 Loper Bright Enterprises et al. v. Raimondo, Secretary of Commerce, et al., Syllabus, Supreme Court of the United States, October Term, 2023: www.supremecourt.gov/opinions/23pdf/22-451_7m58.pdf.

シェブロン逆転は、行政府から司法府への権力の根本的な移行を意味します。

裁判所は、特にその指針が長く続いていたり、十分な根拠がある場合には、政府機関による法律の解釈を参考にすることができます。しかし、最終的な解釈は裁判所に委ねるべきだとした1944年の『スキッドモア対スウィフト&カンパニー』の判決に基づき、政府機関には『敬意を持った考慮』しか与えられないことになります。

シェブロン逆転判決の影響

シェブロン逆転により、以下のような影響が予想されます：

- **規則制定プロセスの長期化**：各省庁は自分たちの法解釈がより厳しく問われることを理解し、慎重な規則制定を行うかもしれません。
- **新たな分野への適用が難しくなる**：規制当局が既存の法律を新しい分野に適用するのが難しくなる可能性があります。
- **州法活動の活発化**：連邦政府の規則制定が停滞する中、各州が独自の要件を設け、企業のコンプライアンスが複雑化する可能性が高まります。

この変化により、企業が規制当局の過剰な解釈を適切に訴えることができれば、規則制定に影響を与える可能性が高まります。

シェブロン逆転以降の規制環境

シェブロン判決以降、アメリカでビジネスを行う企業には新たなチャンスとリスクが生じています。

この変化により、企業が規制当局の過剰な解釈を適切に訴えることができれば、規則制定に影響を与える可能性が高まります。この方法は訴訟よりも混乱が少なく、コストも抑えられます。取締役会は、規則制定プロセスが会社の事業や経営に影響を与える場合、会社がそのプロセスに積極的に関与できているかを確認したいと思うでしょう。

シェブロン逆転の完全な影響は時間とともに明らかになりますが、すでに明らかになっているのは、当局の解釈に慣れていた企業が、より不確実な規制環境に適応しなければならないということです。

多くの企業はすでになんらかの関与をしていますが、さらに積極的に関わりたいと考えている企業もあります。企業は、複雑な規制環境に直面し、より裁判所の判断に影響されやすくなっています。

- 企業は、シェブロン逆転が短期的および中期的に及ぼす影響を評価する必要があります。シェブロン原則の廃止は、大気や水の浄化、公有地、森林管理、気候政策などの法律において、多数の再解釈を引き起こす可能性があります⁴。
- 継続的に、多くの企業は連邦および州レベルの法律や規制、そして法廷での動向を追跡する機能を強化する必要があります。そのためには、視野を広げるための投資が求められます。
- シェブロン逆転は、新しい規制が法的な争点になる可能性がある場合、企業によるその規制対応の実施を複雑にするかもしれません。企業は、新たな要件を遵守するための積極的な取り組みと、そのコスト、さらには規制の撤回や修正の可能性を考慮する必要があります。これにより、柔軟で適応力のある規制変更プログラムの必要性が浮き彫りになってきます。

4 “The sweeping impact of the Supreme Court’s Chevron reversal,” by Erin X. Wong, Route Fifty, July 8, 2024: www.route-fifty.com/management/2024/07/sweeping-impact-supreme-courts-chevron-reversal/397876/.

シェブロン逆転の完全な影響は時間とともに明らかになりますが、すでに明らかになっているのは、当局の解釈に慣れていた企業が、より不確実な規制環境に適応しなければならないということです。取締役は、経営陣と規制問題について話し合う際に、これらの変化を考慮する必要があります。

プロティビティの支援

破壊的なテクノロジーや規制の圧力、進化する顧客ロイヤルティ、経済的リターンへのプレッシャー、そして変化

するグローバルな規制環境は、企業が今後10年間で成功するために克服しなければならない課題の一部です。ダイナミックな規制情勢とコスト削減の重視は、利益ある成長を達成する企業にとっての複雑さを増しています。プロティビティは、元業界専門家や元規制当局者の知見とコンサルティング能力を活かしたユニークなアプローチで、規制改革に関する経験と新たな視点を融合させています。

プロティビティについて

プロティビティは、企業のリーダーが自信をもって未来に立ち向かうために、高い専門性と客観性のある洞察力や、お客様ごとに的確なアプローチを提供し、ゆるぎない最善の連携を約束するグローバルコンサルティングファームです。25ヶ国、90を超える拠点で、プロティビティとそのメンバーファームはクライアントに、ガバナンス、リスク、内部監査、経理財務、テクノロジー、デジタル、オペレーション、人材・組織、データ分析におけるコンサルティングサービスを提供しています。プロティビティは、米国フォーチュン誌の働きがいのある会社ベスト100に10年連続で選出され、Fortune 100の80%以上、Fortune 500の約80%の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロティビティはRobert Half (RHI)の100%子会社です。